

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

2023023

プロジェクト名 フィリピンの子どもたちに音楽のテキストブックと楽器を届けよう！

プロジェクトの概要

フィリピンの子どもたちは、経済的理由から楽器に触れる機会がありません。そこで、フィリピンの子どもたちが音楽を楽しむだけでなく、楽器の演奏技術を会得し、演奏を通して集中力や学習能力、豊かな心を育めるように、オリジナルの音楽テキストブックを作成し、リコーダーと鍵盤ハーモニカと共に寄贈することを目標に掲げました。テキストブックは芸術学部の学生と共に制作、寄贈する楽器は日本大学や附属高校から募り、プロジェクトを実行しました。

プロジェクトの結果・成果

テキストブックの作成は、フィリピンの子どもたちの音楽の知識に合わせて、楽譜の読み方や音符の説明ページを設け、基礎から正しい知識が学べるように心がけ、フィリピン国歌の楽譜も掲載しました。リコーダー、鍵盤ハーモニカの演奏方法は勿論のこと、写真付きで楽器の使い方や手入れの方法まで記載。また、万が一、楽譜の読み方が分からなかった時のために、デジタル教材を作成し、QRコードを読み込むと、練習曲の演奏映像が音声付で見られるように工夫しました。更に、タガログ語に翻訳し、完成したテキストは、500冊印刷し寄贈しました。

楽器の収集は、日本大学の学生や附属高校の学生から募るために、キャンパスでのブース設置、呼びかけ、校内放送、ポスター掲出、ピラ配り、食堂メニュー提供、SNS等を用いて呼びかけました。キャンパスでのブース設置は、法学部・通信教育部・芸術学部・文理学部・生物資源科学部・藤沢高校で実行し、食堂メニュー提供は、文理学部のこすもす食堂様にご協力いただき、生物資源科学部 Highers☆考案のフィリピンメニューを提供し、プロジェクトの認知度アップに寄与しました。

最終的に、リコーダー70本（ソプラノ40本・アルト30本）、鍵盤ハーモニカ25台が集まり、メンバーで洗浄・点検を行い、安全に使用できることを確認した上で、テキストブック、文具と共に、2024年1月26日にフィリピンに発送しました。

本プロジェクトは、生徒数日本一である日本大学の強みを活かし、様々な学部と連携を図ることにより、初期の目標を達成させました。また、日本大学文理学部学生国際ボランティアグループ“Salamat” A”では、今後も楽器の寄贈活動を継続してまいります。

活動写真

